

## 市民グループとのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年5月22日（水）午前10時30分～午前11時30分
グループ名	「星のまち交野」友の会
場 所	正行寺浄土真宗本願寺派龍雲山
参加人数	7人

### テーマ 天野川の流れる“まち”交野と私たち 「星のまち交野」を市民のネットワークで 「星のまち交野」をアピールする

#### 主 旨（市民グループ）

- 「星のまち交野」というキャッチフレーズだが、昔に比べて実際に星を見られる場所が少なくなってきたことを残念に感じている。天体望遠鏡を設置するなど、星が見える環境作りに力を入れていただき、交野の古き良き文化を子どもたちに伝えていきたい。
- 交野市で教師を40年しており、昔は生徒を連れて泊まり込みで星を見に行くなどしていたが、現在は教師の責任問題や、働き方改革などで難しいため、何とかして子どもたちに実際に星を見る体験をさせてあげたい。
- 星田の地域等は開発が進む中、街灯がLEDになるなど街全体が明るくなっており、自然も減少している。
- 50年ほど前から交野市に住んでおり、昔は空を見るとたくさんの星が見えたが、今はまち全体が明るくなり、見える星も少なくなってきた。たくさんの星がある環境で、星を見る体験ができる日を一日でいいので作ってほしい。
- 星の里いわふねでプラネタリウムが再開されたことは嬉しく思っている。プラネタリウムのアナウンスを肉声にするなど、お客さんの心に残るような工夫をしてほしい。
- 6～7年前に、交野市なら子どもをのびのび育てられるのではと考えて私部に引っ越してきたが、実際に住んでみると都会の雰囲気を感じた。私市近くには自然が多く田舎の雰囲気はあるが、私部にはその雰囲気を感じない。私部地域に住む子どもたちにも「交野は星のまちなんだよ」とわかるような取り組みを行ってほしい。
- 交野の古き良き文化を知ってもらうために、広報の一面を使って周知するなどして、新しく交野に来た人へ伝えてほしい。
- 七夕祭り等の行事の回数や、地域の企業と協力するイベントを増やすなど、交野市をアピールする機会を増やすことはできないか。
- 交野市全体で7月7日に7分間ライトダウンをするなど、星を見るイベントを企画をして「星のまち」をアピールしてほしい。
- 「星のまち」をアピールするために、当団体が保有する望遠鏡を市長室に置くことはできないか。

## 市長

- 交野市は大阪府内の他市と比べると、自然環境については比較的多くあるまちだと考えている。
- 「星のまち交野」をアピールする件について、天体望遠鏡を新たに設置することは厳しいが、市の取り組みとして、星の里いわふねのプラネタリウムを15年ぶりに再開し、子どもたちに無料券を配布している。併せて、同じ地域にある「星のブランコ」、「大阪公立大学附属植物園」など、地域一帯で、星のまちとしての魅力を高める取り組みを進めるとともに、豊かな自然環境をPRしていきたいと考えている。
- LED照明（街灯）については、安全性の観点から照明を落とし、まちを暗くすることは難しい。なお、現在は明るさを自動的に認識し、照明のスイッチが入る仕組みとなっている。
- 自然環境に関しては当然保全をしていくべきだと考えている一方、土地所有者との関係もあり、非常に難しい問題と認識している。なお、今ある環境や資源については今後も残していきたいと考えており、本日いただいた意見等をこれからの施策に生かしていきたい。